

aurachin C モノオキシゲナーゼ/異性化酵素

Cat. No. EXWM-0825

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 細菌 *Stigmatella aurantiaca* からの aurachin C モノオキシゲナーゼは、NADH と NADPH の両方を補因子として受け入れますが、NADH を好みます。これは、aurachin C を aurachin B に変換する初期段階を触媒します。FAD 依存性モノオキシゲナーゼは、aurachin C の C2-C3 二重結合のエポキシ化を触媒し、その後、セミピナコール再配置が続く、ファルネシル基が C3 から C4 に移動します。

別名 auaG (遺伝子名) ; オーラキン C モノオキシゲナーゼ

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC 番号 EC 1.14.13.222

反応
$$\text{aurachin C} + \text{NAD(P)H} + \text{H}^+ + \text{O}_2 = 4\text{-ヒドロキシ-2-メチル-3-オキソ-4-}[(2\text{E},6\text{E})\text{-ファルネシル-3,4-ジヒドロキノリン 1-オキシド}] + \text{NAD(P)}^+ + \text{H}_2\text{O (全体反応)}$$
$$(1\text{a}) \text{ aurachin C} + \text{NAD(P)H} + \text{H}^+ + \text{O}_2 = 2\text{-ヒドロキシ-1a-メチル-7a-}[(2\text{E},6\text{E})\text{-ファルネシル-1a,2-ジヒドロオキシレノ[2,3-b]キノリン-7(7aH)-オン}] + \text{NAD(P)}^+ + \text{H}_2\text{O}$$
$$(1\text{b}) 2\text{-ヒドロキシ-1a-メチル-7a-}[(2\text{E},6\text{E})\text{-ファルネシル-1a,2-ジヒドロオキシレノ[2,3-b]キノリン-7(7aH)-オン}] = 4\text{-ヒドロキシ-2-メチル-3-オキソ-4-}[(2\text{E},6\text{E})\text{-ファルネシル-3,4-ジヒドロキノリン 1-オキシド}]$$

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C ~ -80 °C で保管してください。